

広報



ごよみかわら

発行所
五所川原市役所

340号

昭和49年11月15日
印刷 日刊民友新聞社

市の人口 男 25,065人 世帯数 13,718世帯
51,885人 女 26,820人 (49年10月1日現在) 住民基本台帳から



えの はなし わたしが おかしのうちに はいろ
うとしていたところす
それで おかしの うちには 目や 口や はながかい

てあります
ちょうちょうも たくさん あそんでいるところ
市立中央小学校1年 まえだますみ

参考のために値段を聞いてみると、大根一本五十円、かぶ一キロ百円、十キロ八百五十円、庄内柿六個百円、白菜一キロ六十円、玉ねぎ一キロ百円、トマト百グラム二十五円、たか菜一把三十円、三十五円、食用菊百グラム二十五円、ねぎ一把四十円、みかん十個百円、ぶどう(黒)一キロ八十円、秋田なし一個五十円、鞠一袋三十円、丸大根一個二十五円、なめこ三百グラム百二十円、銀茸八十円、菊いも一キロ百円、さつまいも一キロ百円、二百円、りんご一箱、ゴールデン千三百円、ふじ千五百円、むつ千五百円、紅玉五百円、レッドゴールド二千円、キャベツ一キロ六十円、菊の花(観賞用)一把五十円、さといも(茎つき一株)百五十円、(いものみ)百グラム三十円、まるめろ(大)一個七十円、なす百グラム十円、三十円、一キロ百円、

市長日記

十一月五日(火)曇
五時半起床。散歩がてらお祭り広場の朝市を見て回る。
にんじん百グラム十円、納豆三十五円、きゅうり一キロ三百円、馬れいしよ一キロ八十円、ピーマン一袋百円、かぼちゃ一キロ七十円、ごぼう百グラム二十円、ながいも一キロ二百円、せり一把六十円、ほうれん草一把百円、豆腐一個四十五円、レタス一把百円、えのき茸一袋八十円、生しょうが百グラム五十円、カリフラワー大百円、小三十円、栗まんじゅう五個百円、こんにやく一本八十円、にんにく一把八十円などであった。
六時四十八分。救急車出勤。聞けば末広町で急病人とのこと。消防本部では対馬隊長以下若い職員が掃除の真最中である。もうその頃は福士町内会長さんが、お祭り広場の清掃をはじめている。ゆうに一時間はかかるとのこと、心からお礼をのべて帰路についたら、岩谷春吉さんが枯葉を燃やしていた。元町角では緑りのおばさんが朝の交通整理に精を出している。

市長の日記

五所川原の朝は、多くの善意によって賑やかに幕をあげた。

の受賞者きまる れて授賞式

市の四十九年度の「文化褒賞」に私学を創立して市の教育振興につくした館田きね氏ら五氏が、また「市褒賞」に多年にわたり国政に参加し郷土の発展につくした清美省吾氏ら六氏が決まり、十一月三日「文化の日」に授賞式がおこなわれました。また、「文化褒賞」と「市褒賞」を受賞した配、偶者の内助の功に報いるため、夫人に「内助功労章」を贈りました。

表彰推せん委員会委員
秋田長兵衛、阿部菊野、
小野雄蔵、角田昭三、平山
金三郎、坂本庸一、増田桓
成田力
一、飛島孝英、佐々木康智
(敬称略、順不同)

文化褒賞



二十三年間、女子教育に専念、五所川原高等学校を最後に教職を去る。退職後は、農村の女子教育を念願し、終戦直後の昭和二十三年私学を創立、豊富な経験、持前の実行力で学校経営に着々と実績を積み、ここにちの私立第一高等学校の隆盛をみるにいたった。

常に誠実と努力をモット

教育の振興に尽力

館田きね氏 (七六)

市内元町四二番地

一に、地域発展のためにも指導的役割を果たされた。各種会合の講師としての活動は、広く市民の敬仰の的となつています。昭和四十四年「勲五等瑞宝章」受章。

人間形成に努力

阿部芳五郎氏 (七六)

市内原字山元七四一二

に努力されているのは周知のとおり。長年にわたる社会教育委員、文化財審議委員、人権擁護委員としての活動をはじめPTA、公民館活動などにも七十六歳という高齢をおして活躍され、終始一貫市の社会教育発展に貢献しています。

内助功労章 夫人 ちやさん

昭和二十八年、小学校長の職を辞めるまで、三十六年間教職を勤める。この間約三十年間市内の学校に勤務、学校教育に対する幾多の実績を残しています。退職後も、数多くの役職にありながら青少年の育成指導に力を注いだ。教育をとおして人間形成

文化の向上に尽す

林 枢次郎氏 (76)

青森市花園町2丁目11-16

市内上平井町出身。大正五年東奥日報社に入社、三十年間報道人としてめざましい活躍を続けた。県内の農事改良に深い関心をもち、東奥日報社退社後も自ら月刊

秀作 長編詩を発表

一戸呉六氏 (六七)

市内鶴ヶ岡字鎌田二八二一

者を得ています。

氏の作品は、西欧的象徴主義を骨格に、日本古典の風味と地方色を肉づけした独特のもので多くの愛好者から高く評価されています。役人生活も長い。現在、市文化財審議委員。

内助功労章 夫人 初枝さん



華道の真髓

津島リ工氏 (七九)

市内大町九

昭和六年、華道で「教授」の免許を得る。華道の普及のため、弟子の養成にため、門下からは現在六百人の人材を輩出しています。多忙な生活のなかで華道の深奥を求め、小原流の最高といわれる「教務」を県内でただひとり免許された。市の文化振興にも努力され、市文化振興会議の副会長として多くの功績を残している。華道とともに市民から広く称賛されています。



夫人 チ力さん

内助功労章

文化褒賞・市褒賞

「文化の日」に晴



地域医療を振興

永沢正三郎氏 (70)

板柳町福田字実田106

昭和六年、東北帝国大学（現東北大）医学部を卒業後、板柳町に勤務。昭和三十年の退職時まで市をはじめ、津軽地方の医療行政に努力されました。昭和十三年から副院長、同十四年から

院長として医療行政の全般にわたり手腕を発揮、現在の西北中央病院の基礎を築きました。また、絵画もやり、ことに書道においては麗筆をふるい書道の振興、後輩の養成に努力しました。現在、板柳町に「永沢外科医院」を開業。北五医師会副会長もつとめた。

内助功労章
夫人 恵さん



現在、田町に「村上税理士事務所」を開業。この間地域住民の納税意識の昂揚につとめる。昭和二十八年卒先して田町第一納税貯蓄組合を設立、二十年間中小商工業者の多い同地区をまとめてきた。

市の経済を振興

市内田町六七

昭和三十八年、卒先して発起人となり市納税貯蓄組合連合会を設立、一貫して納税意欲を高めるとともに納税貯蓄組合の体質改善をはかってきた。

昭和三十一年、五所川原商工会議所役員として就任。昭和三十七年には副会頭、昭和四十三年から会頭として市経済界の先達として活躍。市はじめ国、県各界の要職を数多くつとめ、市民のよき指導者として市の発展に努力されています。

内助功労章
夫人 キサさん



市農業を振興

石岡義雄氏 (七八)

市内福山字広富一六八

大正十年、長橋村議會議員、昭和二年長橋村長の要職につき戦後は長橋村農地委員会会長として地域発展につとめた。昭和三年、長橋村農会長となり、農業団体の役員としての一步を踏み出し、昭和三十五年に現役を引退されるまで北郡農会代議員など多くの要職につかれ、農業の振興に絶大な努力をされた。現在も市民の指導者として市の発展に努力されています。

市褒賞



郷土の発展に寄与

楠美省吾氏 (六九)

弘前市境関字豊川三二一三

時まで国政に参与した。戦後さらに二十六回衆議院議員選挙、昭和三十年第二十七回衆議院議員選挙に当選し、昭和三十二年には行政管理庁政務次官に就任した。国政に直接参画して、国運の発展と郷土の発展に寄与された功績は大きい。

内助功労章
夫人 のりさん



昭和十年、東北帝国大学（現東北大）医学部を卒業。昭和十四年西北病院に勤務。同二十年から副院長として市立西北中央病院の基礎を築きました。市民の保健衛生思想の普及と市の医療体制づくりに貢献、昭和三十二年市の国

医療の体制づくり

草刈繁治氏 (六四)

市内旭町九

民健康保険運営協議会の発足と同時に委員となり、十五年間にわたり健康管理の面から市勢の発展につとめられた。

また、この間五所川原高校などの校医として長年にわたって学校保健に尽力。スポーツにも深い関心をもち、市内における各種大会の開催にあたっても常に協力、スポーツの振興と発展にもつとめた。現在市国民健康保険運営協議会委員。

内助功労章
夫人 英子さん

郷土の誉れ

笠井儀郎氏 (72)

川崎市川崎区大島4丁目13-1



市内桜田出身。戦前の昭和十一年川崎市議選に立候補し当選、終戦時まで市議として活躍。終戦後は、川崎市議一期、神奈川県議を四期つとめ、現在神奈川県選管

理委員会委員として活躍している。スポーツにも深い関心を持たれ川崎市体育協会会長、川崎市野球協会会長などの要職についた。昭和三十七年、藍綬褒章受章、昭和四十七年勲四等瑞宝章受章、昨年は川崎市文化章を受けています。

内助功労章
夫人 としをさん

市内高野出身。修学後満洲国に赴き多年にわたり満洲国官吏として同国の行政機関に参与。昭和十七年、第二十一回衆議院議員選挙に当選、終戦

五所川原警察署管内における交通事故は、十月八日現在百二十二件が発生し、八人が死亡、百五十七人がケガをしております。とくに十月に入つて八日現在二件の事故で三人の尊い生命が失なわれています。

車を貸すときは

運転者は
無免許、飲酒運転、スピード違反は絶対しないこと
無謀な追い越し運転はしない。オートバイ、バイクを運転するときは、ヘルメットを着用すること。(同乗者も)。歩行者を保護する運転を。自動車などを貸

免許証の確認を

を。路外帯(道路端の白線)を通行すること。信号機に従つて、横断歩道の通行を。(横断歩道のないところでは、直角に右、左、右の安全を確め、右手をあげ自動車をとめてから渡る)飛びだしをしないこと。

すときは、相手の免許証を確かめること。(貸したものは同罪とされ、事故の場合損害賠償をしなければならぬ場合もあります)
歩行者は
歩道を通行すること。歩道のないときは、右側通行

(とくにバスなどから下車し、道路を横断するときは後から正しい横断をすること)。雨降りや夜間道路を通行するときは、白っぽい物を着るか、車をどから見やすい方法で通行すること。
自転車乗りは
左側通行を。(道路の左端)。夜間は、必ずライトを点灯すること。
完全整備された自転車を運転すること。(ブレーキ、ハンドル、ライト、反射鏡を整備)。右、左折は必ず手信号をおこなうこと。(五所川原警察署)



ともに白髪

市では、十一月三日「文化の日」に、長寿夫婦を招き、顕彰状を贈つて長生きを祝福しました。招かれたのは、結婚して五十年以上になる市内川山の館山祐三、キヨさん夫妻ら五十三組。佐々木市長が、「これからも手をたずさえともに長生きしてください」と励まし、それぞれの夫婦に顕彰状と記念品を贈りました。
このあと、「金多豆蔵」の人形芝居をみて楽しいひとときを過ごしました。

出稼者の心算



(その6)

かけることがあります。自分のいた間のお金などの貸し借りのしまつをつけるように。
「とびたつ水鳥はあとをにこさず」とあるように後でいろいろの問題をおこさないために

とびたつ水鳥は……

自分がいつごろ仕事をやめて帰るか、現場の責任者に知らせておくように。
これをしないと、賃金が後払いになったりします。また、事業所にめいわくを

事業所のあるところの監督署に知らせておくように。
もし、書くことをこたわった場合でも、監督署に知らせておくように。
未払いの分を、あとで送ると言った場合でも、そのことを監督署に知らせておくように。
この場合、自分の家の住所を知らせておくこと。

市税の完納で

明るい新年を

市では、十一月一日から十二月二十八日までを、「市税年内完納強調期間」と定め、市民のみなさんにご協力をお願いしています。お手もとの納税通知書をいま一度確め、すべての税金を十二月二十八日までに完納し、明るい年を迎えましょう。

商工会議所特定退職金共済制度
掛金は、従業員ひとり月額一口一、〇〇〇円から四口四、〇〇〇円まで、全額事業主負担です。
受けるとき
退職一時金 被共済者(加入従業員)が退職したとき
遺族一時金 被共済者(加入従業員)が死亡したとき
年金 加入十年以上の退職者が希望するとき

五所川原商工会議所の 会員事業所共済制度

月々880円で、最高220万円の保障
病気による死亡、廃疾のとき…1口110万円
不慮の事故(交通事故、風水害、火災などの偶発的な事故)で死亡、廃疾のとき…1口220万円
不慮の事故による一定の傷害のとき…1口110万円~11万円
不慮の事故による5日以上入院のとき…1口1日につき1,650円

- 固定資産税、都市計画税 (第四期) 十一月三十日
- 保険税 (第三期) 十一月三十日
- 市県民税 (第四期) 十二月二十八日
- 保険税 (第四期)





冷えこみがだんだん厳しくなってきました。気がマインナス摂氏四度以下

水道管の凍結に注意

水道の冬じたく

冷えこみがだんだん厳しくなってきました。気がマインナス摂氏四度以下になりますと、水道管が凍ったり破裂したりします。とくに蛇口、メーターボックスのなか、水道管の立上り部分に注意し、不凍せん、水ぬきせん、電熱せんなどで凍結を防いでください。

△水道管が凍って、水が出なくなったら、蛇口の部分にタオルをかぶせ、その上からゆっくりぬるま湯をかけるとかしてください。急に熱湯をかけると破裂することがありますので注意してください。

△水道管が破裂したら、破裂した部分に布かテープをしつかり巻きつけ、応急手当をし、市水道課か近くの市指定の水道業者に修理を申し込んでください。

冬期間、水道は認定告知

寒さもだんだんきびしくなりました。市水道課では毎月(一部隔月)検針してありますが、これから降雪や積雪のため検針が困難になります。できるだけ検針をいたしますが、検針のできない町内から水道の使用料は認定で告知します。



おめでとう 文化 市褒賞

市の四十九年度の「文化褒賞」と「市褒賞」の受賞式が十一月三日「文化の日」午前十時から市長公室でおこなわれました。こととして三回目の「文化褒賞」には、私学振興に尽した館田きね氏ら五氏が、また「市褒賞」には、代議士として郷土の発展に尽した楠美省吾氏ら六氏が受賞し、夫人に内助功労章が贈られました。

敷島分院の患者作品展

患者の生活療法の一部である作業療法 によってできた作品を次の日程で展示します。

保母さん受験講習会を開催

△とき 十二月二日(月)～同月六日(金)まで
△ところ 青森市橋本一丁目、教育会館四階ホール
△申込み先 青森市千刈四丁目四十八、こどものくに保育園内、「保母受験講習会事務局」
△申込み期日 十一月二十五日必着のこと
なお、申込み方法などかわしくは市福祉事務所におたずねください。

生活環境
パトロール本部
住みよい環境づくりに
⑤ 1414

おしらせ



する本人または遺族で手続きを完了していない者であること
 ②定例叙勲の仮記を所持しないが(紛失、焼失などのため)以前に仮記を所持する本人または遺族

「未伝達勲章の調査について」

△調査の対象

定例叙勲は、昭和十五年五月十七日から昭和二十一年四月三十日までで発令事務が完了した者であつて、当市に居住する旧軍属であること

△調査の方法

- ①定例叙勲の仮記を所持
- ②戦没者が生存中に叙勲された仮記について前記①の状態にある遺族でまだ手続きを完了していない者であること
- ③本人または遺族(戦没者の遺族含む)の所持する軍隊手帳、軍歴などに定例叙勲発令事項の記載があるもの
- ④本人または遺族(戦没者の遺族含む)の所持する軍隊手帳、軍歴などに定例叙勲発令事項の記載があるもの

みりの秋です 国民年金を納めましょう

みりの秋です。ことしもお米は豊作のようです。さて、あなたは「国民年金」を納めてしまいましたでしょうか。

納めるのを忘れていたり「たまっている」といふ不利益なことになります。「国民年金」からは、老齢年金、障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、通算老齢年金、寡婦年金、死亡一時金の八種類の給付があります。

このうち、障害年金、母子年金、準母子年金は、か

いる本人または遺族(戦没者の遺族を含む)で、まだ手続きを完了していない者であること
 ⑤前記④において受領した勲章を所持していないが受領したことのある者であること

⑥本人または遺族(戦没者の遺族含む)の所持する軍隊手帳、軍歴などに定例叙勲発令事項の記載があるもの
 以上についてお心あたりの方は、市窓口サービス課にお知らせ願います。

冬休み中の少年非行防止

子どもたちにとつて冬休み中には、クリスマスやお正月があり、楽しい時期で

「青森国体の歌」「青森国体音頭」歌詞を募集

- △応募資格
 ①県在住者と県外にいる県出身者であるが、だれでも応募できま
- ②作品は、自作未発表のもの
 △応募方法
 ①四百字詰原稿用紙にて書きとす。末尾に住所、出身地(県外在住の者)、氏名(ふりがな)、年齢、職業、勤務先

または学校名を階書で明記のこと
 ②作品は、なるべく当用漢字、現代かなづかいを使用してください。
 ③特殊な読み方をする漢字にはふりがなを

△歌詞の内容
 ①「青森国体の歌」青森国体のテーマ「あすなろ国体」、スローガン「心ゆたかに力たくましく」の趣旨を生かし、力の限りをつくし技を競うスポーツマンの祭典をたたえ、明るく力強く歌えるもの
 ②「青森国体音頭」いじめられたゆたかな郷土の特色を盛り込み、歌いやすく親しみがあがり、広く県民に

愛唱され青森国体のムードを盛り上げるもの
 △応募の締切
 十一月三十日(当日消印有効)
 △ほう賞
 「青森国体の歌」「青森国体音頭」のそれぞれにつき、入選一点十万円、佳作二点二万円(各一点につき)
 △作品の送り先
 (郵便番号〇三〇) 青森市長島一丁目一、青森国体局内、「第三十二回国民体育大会青森県実行委員会」
 △入賞者の発表
 明年一月三十一日まで本人に通知するか、県広報紙などで発表します。

すが、うっかりすると非行に走りやすい時期でもありま

す。保護者の方は、年末の忙しさに追われて監護をおろそかにすることのないように注意しましょう。

冬休み中の非行は、夏に次いで多く昨年は県下で六百七十一人が補導されています。犯罪行為では盗み、傷害などが多く、不良行為では喫煙、不健全な遊び、夜遊びなどが多くなっています。

れやすいので、良い友だちを持たせましょう。友だちのところに泊まりがけで勉強に行くなどと言って不良グループに入っている例も多いので、子どもが外出、外泊をするときには行き先帰宅時間を確かめるとか、相手方の保護者とよく連絡をとるなどしましょう。

納税は納期内に

個人事業税 第二期分の納期限は
 十一月三十日
 納税貯蓄組合員は、組合を通して納めましょう

十一月三十日